



バッファ使用状況ヒストグラムの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [バッファ使用状況ヒストグラム機能に関する情報, 1 ページ](#)
- [バッファ使用状況ヒストグラムの注意事項と制約事項, 2 ページ](#)
- [バッファ使用状況ヒストグラムのデフォルト設定, 2 ページ](#)
- [バッファ使用状況ヒストグラムの設定, 3 ページ](#)
- [バッファ使用状況ヒストグラム機能の確認, 6 ページ](#)
- [バッファ使用状況ヒストグラムの出力例, 6 ページ](#)

バッファ使用状況ヒストグラム機能に関する情報

バッファ使用状況ヒストグラム機能では、リアルタイムでシステムの最大キュー深度とバッファ使用状況を分析できます。即時またはリアルタイムのバッファ使用状況情報は、ハードウェアでサポートされます。ソフトウェアを使用して、ハードウェアを定期的にポーリングすることで、バッファ使用量の履歴を取得できます。バッファ使用量の履歴を取得すると、システムのトラフィックパターンがより具体的にわかるので、トラフィックエンジニアリングに役立ちます。その結果、ハードウェアバッファリソースをより効果的に使えます。

Cisco Nexus デバイスでは、40 ギガビットイーサネット3ポートごと、または10 ギガビットイーサネット12ポートごとに、共有の25 Mb パケットバッファにアクセスできます。15.6 Mb は入力用に、8.6 Mb は出力用に予約されています。残りの容量はSPAN および制御パケットに使用されます。

バッファ使用状況ヒストグラムによって、以下を行うことができます。

- 希望するポートのバッファ使用状況履歴の測定値を設定します。
- 一定時間、バッファ使用状況を確認します。
- 低速または高速のポーリングモードを設定します。

- 後で分析できるように、収集した統計情報を1時間ごとにブートフラッシュドライブの `buffer_util_stats` ファイルにコピーします。収集した統計情報は1時間後にファイルの末尾に追加され、インターフェイス名があるヘッダーにタイムスタンプが付けられます。

バッファ使用状況ヒストグラムの注意事項と制約事項

バッファ使用状況ヒストグラムには次の注意事項と制約事項があります。

- データは、アップグレード時に維持されるわけではありません。新しいリリースの後にスイッチがオンラインになると、新たな統計情報の学習が再起動します。
- ユニキャストおよびマルチキャストバッファの使用状況は、出力方向で確認できます。入力方向では、バッファの使用状況は結合されます。
- この機能は、物理ポート上でのみサポートされます。この機能は、仮想インターフェイス、サブインターフェイス、FEX ホスト インターフェイス (HIF) ポート、およびポートチャネルではサポートされていません。ファブリックエクステンダ (FEX) のファブリックポートとポートチャネルメンバポートがサポートされています。
- `show hardware profile buffer monitor {all | interface intf} history {brief | detail} | xml > filename.xml` コマンドを使用して、XML 出力を取得できます。

このコマンドは、CLI 上の XML ファイルの内容を表示します。これは XML ファイルに転送できます。ファイルは任意の XML アナライザツールにフェッチして、詳細な解析ができます。XML サポートはリアルタイムのバッファ使用状況には使用できないので、ご注意ください。これはつまり、**history** オプションのないコマンドを使用することです。

高速ポーリング

デフォルトでは、ソフトウェアは1秒ごとにバッファの使用状況をポーリングします。高速ポーリングでは、250 ミリ秒間隔でバッファの使用状況をポーリングします。ポーリングモードを低速（デフォルト値）から高速に変更しても、低速のポーリングモードで取得した古いヒストグラムの記録はクリアされません。高速ポーリングモードを使用し、新しいデータの入力が続くと、古いデータは表の最後に移動していきます。ポーリングモードが高速から低速に変更されると、同じシナリオが逆のケースであてはまります。高速ポーリングモードではポーリング間隔は250 ミリ秒ですが、CPU 使用率に影響はありません。

高速ポーリングでは、より詳細なデータが結果として得られます。ポーリングモードが変更されると、そのポーリングモードはバッファ使用状況ヒストグラム機能がイネーブルになっているすべてのポートに適用されます。

バッファ使用状況ヒストグラムのデフォルト設定

次の表は、バッファ使用状況ヒストグラムパラメータのデフォルト設定の一覧です。

パラメータ (Parameters)	デフォルト
バッファ使用状況ヒストグラム	ディセーブル
ポーリング モード	遅い

バッファ使用状況ヒストグラムの設定

バッファ使用状況ヒストグラムのイネーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>switch# configure terminal</code>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<code>switch(config)# interface [ethernet [chassis/]slot/port]</code>	指定したインターフェイスの設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>switch(config-if)# hardware profile buffer monitor</code>	ポートのバッファ使用状況ヒストグラム統計情報の収集をイネーブルにします。
ステップ 4	<code>switch(config-if)# copy running-config startup-config</code>	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。

次に、バッファ使用状況ヒストグラム収集機能をイネーブルにする方法の例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/1
switch(config-if)# hardware profile buffer monitor
```

高速ポーリングの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# hardware profile buffer monitor sampling fast	250 ミリ秒間隔で高速ポーリングを設定します。
ステップ 3	switch(config)# copy running-config startup-config	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。

次の例は、高速ポーリングの設定方法を示しています。

```
switch# configure terminal
switch(config)# hardware profile buffer monitor sampling fast
```

低速ポーリングの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# no hardware profile buffer monitor sampling fast	1 秒間隔で低速ポーリングを設定します。
ステップ 3	switch(config)# copy running-config startup-config	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。

次の例は、低速ポーリングの設定方法を示しています。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no hardware profile buffer monitor sampling fast
```

バッファ使用状況ヒストグラム機能のディセーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# interface [ethernet [chassis/]slot/port]	指定したインターフェイスの設定モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-if)# no hardware profile buffer monitor	ポートのバッファ使用状況ヒストグラム統計情報の収集をディセーブルにします。
ステップ 4	switch(config-if)# copy running-config startup-config	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。

次に、バッファ使用状況ヒストグラム機能をディセーブルにする方法の例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/1
switch(config-if)# no hardware profile buffer monitor
```

バッファ使用状況ヒストグラムの履歴のクリア

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# clear hardware profile buffer monitor [interface ifid]	提供されたパラメータに基づいて、1つまたはすべてのポートのバッファ使用状況ヒストグラムの情報をクリアします。インターフェイスなしでコマンドを入力すると、すべてのポートのバッファ使用状況の統計情報がクリアされます。

次に、バッファ使用状況ヒストグラムの履歴をクリアする方法の例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# clear hardware profile buffer monitor
```

バッファ使用状況ヒストグラム機能の確認

次のいずれかのコマンドを使用して、設定を確認します。

コマンド	目的
<code>show hardware profile buffer monitor {all interface intf}</code>	各ポートのユニキャストおよびマルチキャストキューのバッファ使用状況に関する統計情報と、全体のバッファ空き容量と使用済みバッファの統計情報を表示します。このコマンドは即時（現在時刻）ベースで、バッファ使用状況の統計情報を取得するために使用されます。
<code>show hardware profile buffer monitor {all interface intf} history {brief detail}</code>	すべてのポートまたは指定されたポートのバッファ使用状況の履歴統計を表示します。このコマンドは簡潔および詳細な表現をサポートします。簡潔な表現は時系列の平均使用状況のみを表示するために使用されますが、詳細な表現は最大、最小、および平均の使用状況を時系列で表示します。

バッファ使用状況ヒストグラムの出力例

次に、ポーリングモードが低速に設定されている場合の出力例を示します。バッファ使用状況データは、1秒ごとに取得されます。1 sec 列のデータには、最小/最大/平均は使用できません。1 sec 列からサンプリングした5つのデータが5 sec 列の最初のエン트리になります（1 sec 列からサンプリングした5つのデータから最小/最大/平均値を計算）。5 sec 列からサンプリングした12のデータが1 min 列の最初のエン트리になります。1 min 列からサンプリングした5つのデータが5 min 列の最初のエン트리になります。5 min 列からサンプリングした12のデータが1 hour 列の最初のエン트리になります。この情報は、ブートフラッシュ上のファイルにコピーされます。データは循環的に表内でプロパゲートされます。

```
switch(config)# show hardware profile buffer monitor interface ethernet 1/1 history detail
-----
Interface : Eth1/1
-----
Sampling Mode : Slow (1 second)
-----
Ingress Buffer Utilization Detected (Min|Max|Avg) (in KB)
Per ASIC Ingress Total Usage (15.628800MB)
-----
1 sec      | 5 sec     | 1 min     | 5 min     | 1 hour    |
```

```

-----
16.3| - | - | 12.5|18.9| 14.9| 9.3|22.7| 15.7| 0.0|23.0| 13.7|      N/A |
21.4| - | - | 13.4|22.7| 17.5| 0.0|22.1|  5.8|  6.7|23.0| 16.3|      N/A |
12.5| - | - | 10.2|21.4| 15.0| 0.0|  0.0|  0.0|  9.3|23.0| 15.8|      N/A |
13.8|† - | - |  9.9|22.1| 13.0| 0.0|22.7|  5.5|      N/A |      N/A |
12.8|† - | - | 10.2|15.4| 12.4|  9.3|23.0| 15.7|      N/A |      N/A |
      N/A | 10.9|20.5| 17.4|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  9.3|22.1| 18.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A | 14.7|22.4| 17.7|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  9.9|21.1| 16.5|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A | 11.2|20.8| 15.9|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  9.9|18.2| 14.7|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A | 10.2|22.7| 16.1|      N/A |      N/A |      N/A |
-----
Egress Unicast Buffer Utilization Detected(Min|Max|Avg) (in KB)
Per ASIC Egress Total Usage (8.611850MB)
-----
      1 sec |      5 sec |      1 min |      5 min |      1 hour |
-----
0.0| - | - | 0.0|19.8|† 7.9| 0.0|19.8| 13.0| 0.0|19.8| 10.6|      N/A |
1.0| - | - | 0.0|19.8| 11.9| 0.0|19.8|  0.4| 0.0|19.8| 12.2|      N/A |
0.0| - | - | 0.0|19.8| 15.9| 0.0|  0.0|  0.0| 0.0|19.8| 11.9|      N/A |
19.8| - | - | 0.0|19.8| 15.9| 0.0|19.8|  4.0|      N/A |      N/A |
0.0| - | - | 19.8|19.8| 19.8| 0.0|19.8| 13.0|      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0|19.8| 11.9|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0|19.8| 15.9|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0|19.8| 11.9|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0|19.8|  7.9|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0|19.8| 15.9|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0|19.8|  8.6|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A | 19.8|19.8| 19.8|      N/A |      N/A |      N/A |
-----
Egress Multicast Buffer Utilization Detected(Min|Max|Avg) (in KB)
Per ASIC Egress Total Usage (8.611850MB)
-----
      1 sec |      5 sec |      1 min |      5 min |      1 hour |
-----
0.0| - | - | 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0| 0.0|      N/A |
0.0| - | - | 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0| 0.0|      N/A |
0.0| - | - | 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0| 0.0|      N/A |
0.0| - | - | 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0|      N/A |      N/A |
0.0| - | - | 0.0| 0.0|  0.0| 0.0| 0.0|      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
      N/A |  0.0| 0.0|  0.0|      N/A |      N/A |      N/A |
-----

```

この例には、該当するタイムラインの平均バッファ使用量値だけが含まれます。詳細出力の1行目だけが出力されます。

```
switch# show hardware profile buffer monitor interface e1/1 history brief
```

```

-----
Interface : Eth1/1
-----
Sampling Mode : Slow (1 second)
-----
Ingress Buffer Utilization Detected(in KB)
Per ASIC Ingress Total Usage (15.628800MB)
-----
      1 sec |      5 sec |      1 min |      5 min |      1 hour |
-----
      0.0|      0.0|      0.0|      0.0|      0.0|
-----
Egress Buffer Utilization Detected(Unicast|Multicast) (in KB)
Per ASIC Egress Total Usage (8.611850MB)
-----

```

バッファ使用状況ヒストグラムの出力例

```
-----  
1 sec | 5 sec | 1 min | 5 min | 1 hour |  
0.0| 0.0| 0.0| 0.0| 0.0| 0.0| 0.0| 0.0| 0.0| 0.0|  
-----
```